行って来ました　エキスポ２０２５関西万博

行正　隆俊（S54　機械）

５月 17 日土曜日に家族３人で行きました。前売券を購入したいと思いながらも、このチケット購入がなかなか難しく、スマホから自分でやるのはあきらめ、娘に購入を頼りましたが顔認証やなにやらでやはりややこしいらしく開幕３日前にようやく購入。１日券６０００円／人。

次はどこから入場するかの予約。午前９時台は東西ゲート共に満員、何とか 10 時の西ゲートを予約する事が出来ました。東ゲートは地下鉄メトロでの直接行けますが、西ゲートは JR 桜島からシャトルバスでの乗り入れなのでこれの予約も必要でした。私たちは９時台のバスを予約していき、バスは次々来るので並んだ時間は短かくて済みました。

前日の天気予報通り激しい雨と強風吹き荒れる中、バス到着。傘を握りしめて、西ゲートへ。待つのを覚悟して行きましたが荷物検査も簡単で殆んど待つ事なく入場出来ました。

パビリオンは全く予約を出来ていない状況（娘でも難しく出来なかった）での入場でしたが、取り敢えず近くの並ばすに入れるバングラデシュ館に入りました。国の紹介、産業などのパネルの展示が主体。世界最貧国の一つの認識でしたが立派に展示をしていました。

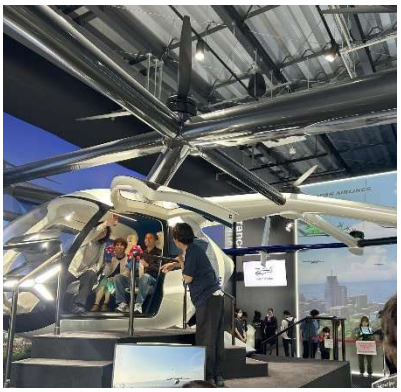
その後バルト館（バルト３国合同）を回りました。１１時過ぎになっていましたがすでに雨は止み暖かく心地良い風が吹いておりました。早い天候回復で確かりました。

次は近くのコモンズ B、C へ。コモンズは一度にいろんな国を見る事が出来るバビリオンです。こんな国もあるのかとブースに入ると発見も多いです。待つこともなくゆったりと見ることができ、中々面白いところでした。スタンプは実際に入館せずとも押せるのが不思議です。

少しずつ食べる計画で、まずドイツ館でソーセージをくるくる巻いて焼いたものと、ドイツビール！を想定していたのですがものすごい人であきらめました。それで近くにあったリングサイトマーケットプレイス東の樽生ドイツビールと洋食の店へ。列は出来ていますが、大好きなソーセージとポテトを得るべく最後尾に並んだのは良かったのですが、その間にドイツビールは売り切れで残念でした。数時間後でないと補充されないようで、並んでいる所はそれが多く、課題だと思いました。余談ですがムール貝の山盛は食べ損ねました。

美味しいソーセージにお腹も満たされ、体力も国復、のんびり次のパビリオンへ。

開催前話題になっていた空飛ぶタクシーは、屋内展示でした。思ったより回転翼が繋ぐリング径が大きく、ヘリコプターとそんなに変わらない大きさのように思え、ちょっとドローンを意識し過ぎと思いました。予約で試乗はできますが飛ぶところを見たいものです。



コモンズのウガンダブースで、ＬＩＮＥ登録後コーヒーの試飲をしましたがちゃっかりした国です。そのＬＩＮＥを開けると試飲したコーヒー豆やチョコレートを買うことができるようになっていました。

北欧館ではおやつ休憩もしました。この時買った北欧ビール（“oslo”）を家で飲んだら、これが美味しかったです。数百円ですから買うべしです。ノルウェーの民族衣装を着た女性が途中案内してくれました。並んでいる途中、さけの寿司握りを模したキャンディーが配られこれもおいしかったです。北欧らしくムーミンソフトクリームがあるとの話で、館の前の出店のワゴンに行ったらハーゲンダッツのアイスで、ムーミンソフトは中！という事で要注意です。グミやキャンディーもあると言うので、スイカグミを講入。なんと 10 粒ほどで 1300 円、思わず「これで 1300 円ですか?」と聞くと、お店の方は「北欧のものですから」。何ともね。

他のバビリオン、モナコ、チェコ、アラブ首長国連邦などにも行きました。まとめて 1 度に入って次を待つパターンが多く、館内はゆったりめ。大阪人としてはもう少し多めに入れてもいい位です。チェコは建物もサザエみたいで面白く自国の文化や産業をうまく紹介していました。そこで流れる故国の作曲家ドヴォルザークのオペラのルサルカより「月に寄せる歌」というアリアが聞かれますがこれが絶品でなんと美しい歌かと涙がでました。さすがです。

夕方にはコロンビア館でコーヒーの販売を見つけコロンビアコーヒーならということでコーヒーを頂きました。その奥で料理も販売していたので、お店のおばさんに世界一おいしい食事と紹介されたレチョナ(写真中央)、三日月状のエンパナーダデポジョパンデポソ(チーズパン)を食しました。世界一は言い過ぎではありましたが、どれも日本人の口には合いました。私は三日月状のが美味しかったです。きっと行く事はないだろう国の食文化に触れることができたのは良かったです。予約必須となっていたパソナ館も、夕方以降は予約なしでも入れるらしいとのネット情報で行ってみますと、なんと 15 分程で入る事か出来ました。世界最大の本物のアンモナイトの宝石状化石が多く展示され、入り口付近には 70 年エキスポの太陽の塔の内部のような生物の進化を示す展示がありました。ips 心臓は 2 ㎝強程度ですが本当に自力で動いていました。その隣には ips 心筋膜が展示され元気に動いていました。ips 心筋膜はすでに実用化が進められているそうです。映像のアニメでは、ブラックジャックが未来に行き、疲れ切った鉄腕アトムの心臓を ips 心臓に入れ替え手術をして、またアトムが活躍できるとなっていましたが、バリバリのアトム世代の人間から見るとアトムの心臓は原子力パワーであり、ips 心臓では活躍出来ないではないかと突っ込んでしまいました。

当日のナショナルデーはカナダ。カナダ館内のステージでの生演奏では、少し哀愁を帯びた音楽が演奏されていました。向こうの人はノリまくっていましたね。順番に国旗も受け取り、妙に満足できました。アイルランド館では、人気があるのか夕方からしか入ることが出来ませんでした。ケルト音楽を初めて聴く事ができ、中々グッドな音楽でした。また展示してある小さなハープを、実際に奏でることができました、やわらかな音に癒されました。チリ館は試食タイムの為入場ストップで入館できず。どんな食事か見ることも出来なかったです。

概ねどの館も、バネル展示や映像が多く 70 年エキスポより実物展示が少なかったです。それでも見た事のない風景、衣服等々を楽しめました。今回の万博のテーマである環境や医療に対する取り組みバネルが多かったです。こまめに情報をチェックするのが必須です。

この日は悪天候の為閉鎖していた閉鎖していた大屋根リングは、昼には天候回復していたのに夜の 19 時にやっと解除になりました。それでやっとリングにも上る事か出来ました。中止予定だったウォーターショ-も開始が決まり光のショーも楽しむことが出来ました。

21 時少し前に万博をあとにしました。帰りは空いているはずの予約のいらない西ゲートを選択、これが良かったです。人が全体的に少なかったのかガラガラで、シャトルバス、電車共にゆっくり座って帰れました。シャトルバス代は要りますが、メトロは高いので余り差はないかもしれません。